

1 アリーナの財源と運営の見込みについて

依然としてお米をはじめとする諸物価の高騰が市民の生活を苦しめています。

市民から「アリーナがあってもいいけど、今じゃない」「税金の優先順位が違うのではないか」との声を聞きます。

市民がスポーツ観戦やコンサートを楽しめるように暮らしを応援することが市の第一の仕事です。エンタメの箱作りは、それで潤う事業者が行えばいいと考えます。

第 5 回アリーナ整備検討会議に追加調査の結果と財源の考え方、ふるさと納税のアピールの資料が示されました。

概算事業費 280 億円のうち、100 億円が一般財源と寄付などとするものです。

そこで質問です。

- (1) 2,000 万円の予算を組んだ追加調査について、イベントプロモーター等へのヒアリング数と内容、概算事業費と維持管理費および経済波及効果の算出根拠等、どのような資料の収集と分析を行ったのか、お示してください。
- (2) 国の補助が受けられる部分を 180 億円と見込んでいます。算定される項目と対象面積など補助メニュー、補助率、金額といった見込みの内訳をお示してください。有利な起債を使っても市の負担は少なくとも 122 億円ではありませんか。
- (3) ふるさと納税等で 50 億円達成の見込みはどう判断しますか。
- (4) ふるさと納税を募るためのパンフレットで、アリーナへの期待についてのアンケート結果をアピールしています。無作為抽出でフラットにアリーナの是非を聞いたのではなく、整備に向けてアピールの一環としてのアンケートでした。それで 64%が期待すると書いているのは市民の 6 割以上が賛成しているとの誤解を招く表現ではありませんか。
- (5) 第 5 回アリーナ整備検討会議に示した財源のあり方こそ、広く市民にアンケートすべきではありませんか。
- (6) 費用の見込みはスマートベニューハンドブックに基づく一般論です。岡山のアリーナとしての見通しはどの時点で固まりますか。

運営の見込みについてもお尋ねします。

建設資金の調達を含めて、比較的新しい手法である B T + コンセッション方式が高評価になっています。

ホームアリーナの試合だけでは採算が取れず、コンサートの方が大きな収入源になっています。

そこで質問です。

- (7) 昨シーズンのホームゲームでの平均観客数は、シーガルズ、トライフープ、リベッツでそれぞれ何人でしたか。
- (8) シーガルズ、トライフープ、リベッツの 3 チームがホームアリーナにするのですか。それぞれのリーグでホームアリーナでの必要試合数は何試合ですか
- (9) メインアリーナの土間は縦横何メートルですか。アイススケートとサッカーに対応していますか。

- (10) コンサートに使える週末は何回になりますか。
- (11) 1 万人の来場者の移動手段の確保についてどう考えていますか。
- (12) BT+コンセッション方式で懸念される点をお示しください。地元チームのホームアリーナという位置づけを逸脱しない運営はどのように担保しますか。

2 訪問介護事業所の経営環境について

市民の暮らしが大変な中で、高齢者の生活を支えるサービスも困難に陥っています。

介護保険料を何とか払っても、必要な時にサービスが受けられない不安があります。

介護では、すでにその基盤崩壊ともいえる深刻な事態が進んでいます。とくに、昨年度、政府が訪問介護の基本報酬を 2～3 %削減したことで、ヘルパーなどの不足と事業所の閉鎖がすすみ、事業所が「ゼロ」「1 カ所のみ」という自治体が増え続けています。

東京商工リサーチの調査で、2024 年度の「介護事業者」倒産が最多の 179 件で、前年度から 3 割増、報酬が改定された「訪問介護」が半数だったと報じられています。

国が、介護保険の国庫負担割合の 10%引き上げで 1.3 兆円を支援し、保険料・利用料の負担増にならないようにしながら、公的助成による介護・福祉職員の賃上げと労働条件の改善、事業所の経営再建、介護事業が”消滅”の危機にある自治体における事業継続への公的支援などを行えば、地方の介護事業所の維持が可能になります。

- (1) 岡山市での訪問介護の基本報酬削減後の事業所の閉鎖と開業の数はそれぞれ何件ですか。
- (2) 在宅介護のニーズに見合っているかの評価はどうなっていますか。
- (3) 国に対して訪問介護報酬の削減を元に戻すように意見を上げませんか。
- (4) 訪問介護事業所のサービス提供に当たっての困りごとをどのように把握していますか。

訪問介護を提供する側から報酬以外にも具体的な負担についてご意見を聞いています。

訪問サービスの際の駐車場所の確保と費用は事業者にとって負担になっています。

全国的にも課題で、自治体が対策に動いているところもあります。

愛知県春日井市ではハートフルパーキングとして、医療・介護事業者等が、駐車スペースのないお宅を訪問する際に、近隣の登録された駐車スペースを一時的に借用することで、路上駐車などを防ぎ、円滑な在宅医療・介護サービスを提供するための事業を行っています。

東京都八王子市では、民間の駐車場を活用する取り組みがあります。

駐車料金は必要ですが、駐車する場所がない、という事態を避けるために自治体が予約制の駐車場の活用を広げる取り組みをしています。

そこで質問です。

- (5) 岡山市が市民や事業者に働き掛けて、駐車スペースを提供してもらったり、駐車場事業者と提携して駐車場所を確保したりすることについてご所見をお示しください。